

SHURE®

PSM®900



Personal Monitor Wireless System

PSM®900 ワイヤレスパーソナルモニターシステム

PSM®900 무선 개인 모니터 시스템

PSM®900 个人无线监听系统





WARNING!

LISTENING TO AUDIO AT EXCESSIVE VOLUMES CAN CAUSE PERMANENT HEARING DAMAGE.

USE AS LOW A VOLUME AS POSSIBLE.

Over exposure to excessive sound levels can damage your ears resulting in permanent noise-induced hearing loss (NIHL). Please use the following guidelines established by the Occupational Safety Health Administration (OSHA) on maximum time exposure to sound pressure levels before hearing damage occurs.

90 dB SPL
at 8 hours

95 dB SPL
at 4 hours

100 dB SPL
at 2 hours

105 dB SPL
at 1 hour

110 dB SPL
at ½ hour

115 dB SPL
at 15 minutes

120 dB SPL
Avoid or damage may occur

SAFETY PRECAUTIONS

The possible results of incorrect use are marked by one of the two symbols - "WARNING" AND "CAUTION" - depending on the imminence of the danger and the severity of the damage.

 **WARNING:** Ignoring these warnings may cause severe injury or death as a result of incorrect operation.

 **CAUTION:** Ignoring these cautions may cause moderate injury or property damage as a result of incorrect operation.



WARNING

- If water or other foreign objects enter the inside of the device, fire or electric shock may result.
- Do not attempt to modify this product. Doing so could result in personal injury and/or product failure.

WARNING: This product contains a chemical known to the State of California to cause cancer and birth defects or other reproductive harm



CAUTION

- Never disassemble or modify the device, as failures may result.
- Do not subject to extreme force and do not pull on the cable or failures may result.
- Keep the microphone dry and avoid exposure to extreme temperatures and humidity.



경고!

지나치게 볼륨을 높여서 오디오를 들을 경우 영구적인 청력 손상을 입을 수 있습니다. 가능한 낮은 볼륨으로 사용하십시오.

지나치게 높은 소리로 장시간 사용하면 청력을 손상시켜 영구적인 소음성 난청을 유발 할 수 있습니다. 미국 산업안전보건청(OSHA): Occupational Safety Health Administration) 기준에 따르는 음압 레벨에 따라 청력 손상이 발생하지 않도록 최대 노출 시간에 대한 다음 지시사항을 따르십시오.

90 dB SPL
8시간

95 dB SPL
4시간

100 dB SPL
2시간

105 dB SPL
1시간

110 dB SPL
30분

115 dB SPL
15분

120 dB SPL
금지, 그렇지 않으면 손상 발생 가능

안전 유의 사항

잘못된 사용으로 발생할 수 있는 결과는 위험의 절박한 정도나 피해의 심각성에 따라,

“경고”나 “주의” 두 가지 기호 중 하나로 표시하였습니다.

 **경고:** 이 경고를 무시하면 올바르게 작동의 결과로 심각한 부상이나 사망이 유발될 수 있습니다.

 **주의:** 이 주의를 무시하면 올바르게 작동의 결과로 가벼운 부상이나 재산 상의 손실이 유발될 수 있습니다.



경고

- 물이나 이물질이 기기 내부에 들어가면 화재나 감전을 초래할 수 있습니다.
- 이 제품을 개조하려고 시도하지 마십시오. 상해를 입거나 제품이 고장을 일으킬 수 있습니다.



주의

- 고장을 일으킬 수 있으므로 기기를 절대로 분해하거나 개조하지 마십시오.
- 과도한 충격을 가하거나 케이블을 잡아당기지 마십시오. 고장이 일어날 수 있습니다.
- 마이크를 건조한 상태로 유지하고 고온이나 습도에 노출시키지 마십시오.



警告!

極端に大きな音量で再生すると、慢性的聴力障害の原因となる恐れがあります。

できるだけ小さな音量で使用してください。

極端に大きな音を長時間聞き続けると、耳を痛める原因となり、慢性的な騒音性聴力障害(NIHL)を引き起こす恐れがあります。聴覚を損なわないようにするため、各音圧に耐えられる最長限度時間に関して米国労働安全衛生庁(OSHA)が定めたガイドラインを以下に記載します。

90 dB SPL
8時間

95 dB SPL
4時間

100 dB SPL
2時間

105 dB SPL
1時間

110 dB SPL
30分

115 dB SPL
15分

120 dB SPL
回避しないと耳を痛める原因となります

安全にお使いいただくために

危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 **警告:** この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意:** この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



警告

- 水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
- 本製品の改造は試みないでください。改造した場合には怪我や製品故障の原因となります。



注意

- 分解・改造は故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 無理な力を与えたり、ケーブルを引っ張ったりしないでください。故障の原因となります。
- マイクロホンは濡らさないようにしてください。極度の高温・低温や湿気にさらさないでください。



警告!

收听時音量过高可能导致听力永久性损伤。应尽可能降低音量。

长期暴露在过高音量下，可能会导致噪音引起的听力受损 (NIHL)。对于在高压级时听音的最长时间，应遵循美国职业安全与健康部 (OSHA) 制定的指导原则，以避免听力受损。

90 dB SPL
8 小时

95 dB SPL
4 小时

100 dB SPL
2 小时

105 dB SPL
1 小时

110 dB SPL
半 小时

115 dB SPL
15 分钟

120 dB SPL
应避免，否则会导致听力受损

安全事項

根據危險程度和損壞嚴重性的不同，使用“警告”和“小心”對未正確使用可能導致的後果做出標識。

 **警告:** 如果沒有遵循這些警告事項，在操作不正確的情況下可能會導致嚴重的人身傷亡事故。

 **小心:** 如果未遵循這些小心事項，在操作不正確的情況下可能會導致常見的人身傷害或財產損失。



警告

- 如果有水或其他異物進入設備內部，可能會導致起火或觸電事故。
- 不要嘗試改裝本產品。這樣做會導致人身傷害和/或產品故障。



小心

- 不要拆開或改裝設備，這樣可能會導致故障。
- 不要用力過大，不要拉扯纜線，否則會導致故障。
- 應讓話筒保持乾燥，並避免暴露在極高的溫度和濕度下。

PSM900

Shure PSM 900ワイヤレスパーソナルモニターシステムは、類まれな優れた音質、強固なRF性能、そしてこの分野でトップクラスのセットアップ機能により、プロフェッショナルモニターに対するさまざまな要求に応えます。新開発、特許出願中のCueModeにより、サウンドエンジニアはボタンに触れるだけで別々のステージミックスをモニタリングすることができます。高精度のフロントエンドRFフィルタリングが、電波干渉によるドロップアウト大きく低減し、高性能デジタル・ステレオエンコーダーが優れたステレオ分離特性と明瞭なオーディオを提供します。

機能

優れた音質

- デジタル・ステレオエンコーダーが、優れた分離性能により広いステレオフィールドを提供し、オーディオのディテールや明瞭度を高めます。
- ワイヤードマイクロホンを思わせる音質の、特許取得済みオーディオリファレンスコンパニング
- 高解像度のMicroDriversをデュアルで搭載したShure SE425 Sound Isolating™イヤホンと使用することで、正確でバランスのとれたオーディオレスポンスを実現します

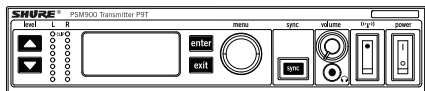
強固なRF性能

- 高精度フロントエンドRFフィルタリングが、よりクリーンで強力なRF信号と、ドロップアウトと音の不自然さを低減させています。
- 並はずれた送信機の直線性により、周波数相互変調は大きく低減され、周波帯ごとのチャンネルも増加しています。
- 自動RFゲインコントロールがRFオーバーロードによる信号の歪みを防止します。

高度なセットアップ及び操作方法

- 特許出願中のCueModeにより、1台のボディバックで最大で20台までの別々の送信機のステージミックスをモニタリングすることができます。
- セットアップ中に電波送信を停止させるためのフロントパネル上のRFミュートスイッチ
- スキャン及び同期セットアップはシステムに最適なグループとチャンネルを見つけ、ワイヤレスIRリンクによって割当てを行うことができます
- MixMode®テクノロジーにより、ボディバックユーザーは自身のオンステージモニターミックスを調整することが可能
- ボディバックでの高域のEQブースト

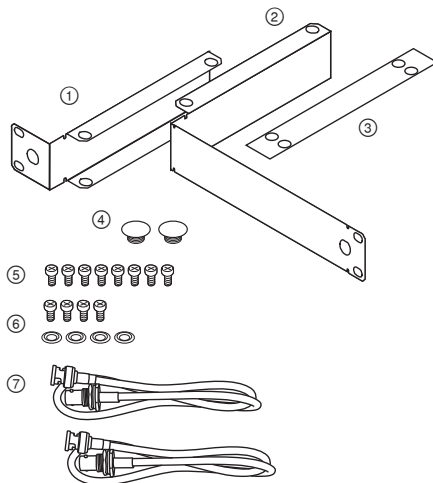
機器構成



• P9T:ラックユニット送信機

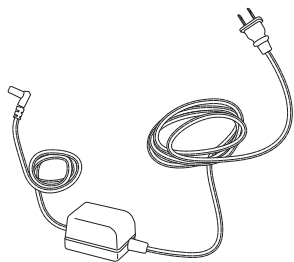


• P9RA:ボディバック受信機

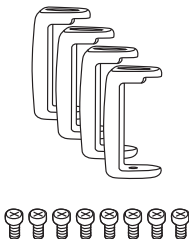


ラックマウントサプライ

- ① ショートラックイヤー
- ② ロングラックイヤー
- ③ 同様のラックユニットに取り付けるための連結バー
- ④ アンテナホールプラグ2本
- ⑤ ラックイヤー用ネジ8本
- ⑥ ラックマウント用ネジ（ワッシャー込み）4本
- ⑦ フロント取付け用アンテナの延長ケーブルおよびコネクター



• PS41:ACアダプター

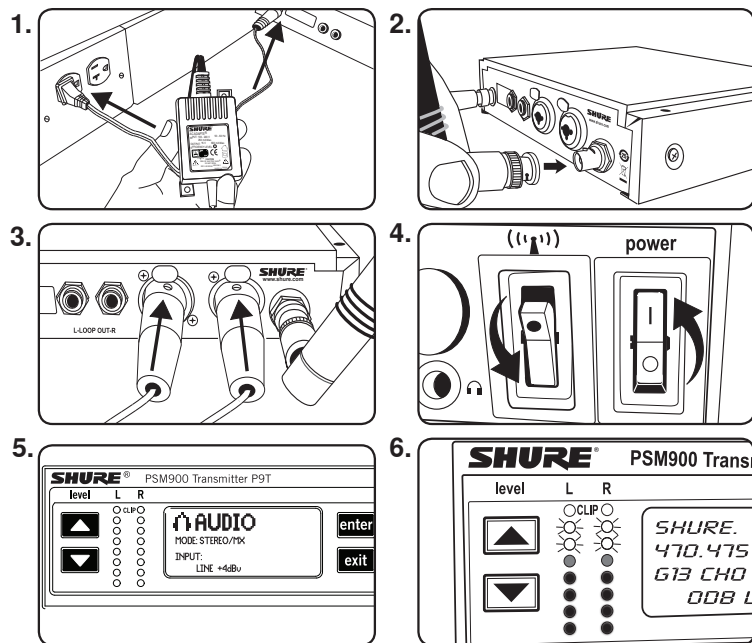


• 保護バンパーとネジ8本

クイックスタート操作ガイド

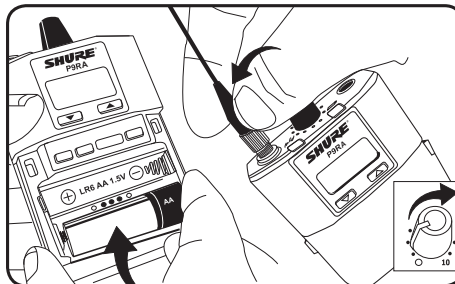
ラックマウント送信機

1. 付属の電源ケーブルを使用してコンセントに接続します。
2. 付属のアンテナをantenna out BNCコネクターに取り付けます。
3. ミキサー出力などの音源をオーディオ入力に接続します。入力ジャックの両方を使用することができます。モノラル音源の場合は、入力ジャックのいずれか一方だけを使用します。
4. RFスイッチをオフにし、電源を入れます。
5. モノラル（入力1つ）の場合には、AudioメニューからMonoを選択します。
Util > Audio > INPUT設定でソースに合わせた入力感度に設定します。
6. 平均的な入力信号レベルに対して上部の黄色LED2個が点滅し、その下のLEDが常時点灯するように、音源のレベルを調整します。赤のクリップLEDが点灯しLCDに警告が表示される場合、入力がオーバーロードになっています。オーディオ入力レベルをAudioメニューで+4 dBuに下げます。信号レベルが低すぎる場合は入力感度を-10 dBVに変更します。



ボディパック

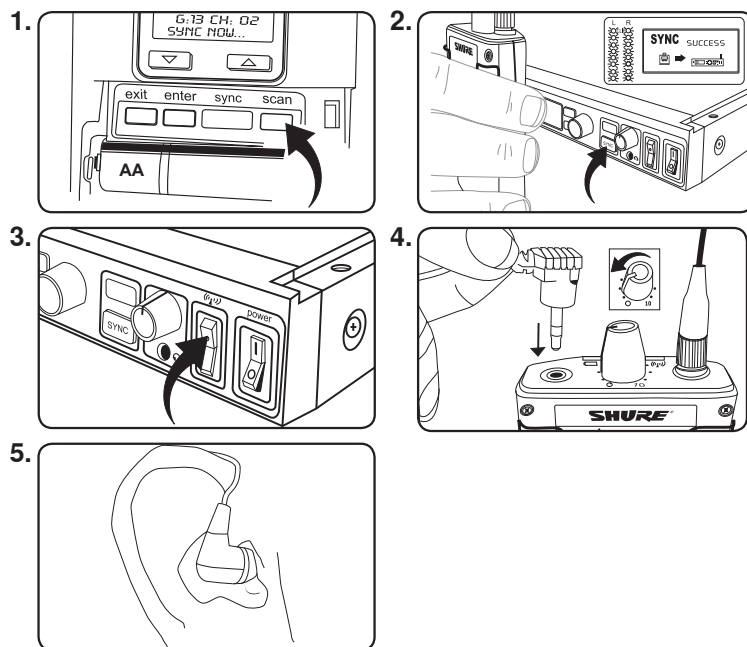
両側のラッチを押しながら引くと開きます。電池または電池パックを挿入し、アンテナを取り付けます。音量ノブを回して電源をオンにします。バッテリーランプが点灯します。



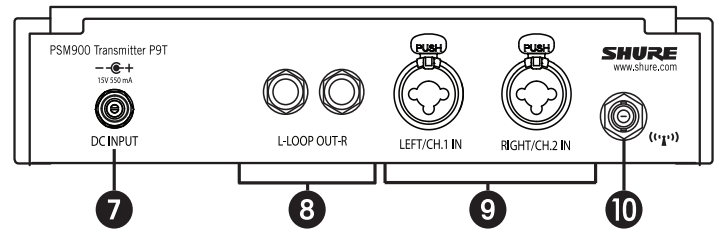
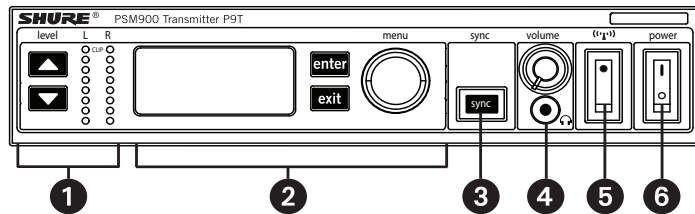
スキャン及び同期

1. ボディパックで、scanボタンを押します。ディスプレイにSYNC NOW...と点滅表示されます。
2. ボディパックのIRウィンドウとラックユニットを近づけると、送信機のIRウィンドウが点灯します。送信機のsyncボタンを押します。ラックユニットのLevel LEDが点滅し、画面にはSYNC SUCCESSと表示されます。
3. RFスイッチをオンにします。ボディパックの青のRF LEDが点灯し、送信機を検出したことを示します。ボディパックにもRF信号強度（RF）が表示されます。
4. **重要：**イヤホンを接続する前にボディパックの音量を下げてください。
5. イヤホンを挿入しゆっくり音量を上げます。

重要：送信機前面の保護フィルムをはがさないと、IR同期が機能しない場合があります。



ラックユニット送信機



フロントパネルコントロール

- ① 入力レベルコントロールとディスプレイ
平均的な入力信号レベルに対して上部の黄色LED2個が点滅し、その下のLEDが常時点灯するように、▼▲ボタンを使用してオーディオレベルを調整します。赤のclipLEDが点灯する場合、入力がオーバーロードとなっています。音源でレベルを下げるか、AUDIO > INPUTメニューでラックユニットの入力感度を変更してください。
- ② ｽｰｽﾞディスプレイとメニューコントロール
enterとexitボタンおよびメニューホイールを使用して設定メニューに進みます。メニューホイールを押すとカーソルは次の項目に移動します。メニューホイールを回してパラメータを変更します - enterボタンが点滅します。enterボタンを押すと、変更した値が保存されます。exitボタンを押すと、変更がキャンセルされ、前のメニューに戻ります。
- ③ 同期ボタン
ラックユニットとボディバックのIRウィンドウを近づけsyncボタンを押すと、設定が転送されます。
- ④ ヘッドホンモニタリング
volumeは、3.5 mmヘッドホンジャックへ出力される信号を調節します。注意：リアパネル上の出力には影響を与えません。
- ⑤ RFスイッチ
RF出力をミュートします。複数のシステムのセットアップや設定の調整を行うときに必要な電波やオーディオ信号を停止できます。
- ⑥ 電源ボタン
ユニットのオン/オフを切り替えます。

リアパネルコネクタ

- ⑦ 電源
付属の電源アダプターで、送信機を電源コンセントに接続します。
- ⑧ LOOP OUT
送信機に入力されているオーディオ信号のコピーを他の機器に送ることができます。ループの用途を参照してください。
- ⑨ オーディオ入力
バランス出力またはアンバランス出力に接続します。モノラル信号の入力の場合は、いずれかのコネクタを使用します。6.35mmフォーンまたはオスのXLRコネクタのどちらでも使用可能です。
- ⑩ アンテナ (BNC)
付属アンテナを取り付けます。ラックマウントする場合は、Shure製フロントパネル取付キットかリモートマウントキットを使用します。

設定メニュー

注: モデルの仕向け地によって設定メニュー項目が異なる場合があります。

RF設定

RADIO

- G
グループ番号の設定
- CH
チャンネル番号の設定
- 888.888MHz
周波数のマニュアル選択
- RF POWER
10、50、100 mWから選択（地域により異なります）

オーディオ設定

AUDIO > MODE

- モニターモードの選択
 - STEREO/MX
両チャンネルの送信
 - MONO
モノラル信号をボディバックに送信

AUDIO > INPUT

- 入力レベルの設定
 - LINE +4 dBu
ラインレベル
 - AUX -10dBV
auxレベル

ユーティリティ及び表示設定

UTILITIES

- EDIT NAME
LCDディスプレイに表示される名前を変更（同期によりこの名前はボディバックにアップロードされます）
- DISPLAY
表示形式を変更します
- CONTRAST
表示コントラストを変更します
- CUSTOM GROUP
カスタム周波数グループの作成

UTILITIES > LOCK PANEL

フロントパネルコントロールをロックします。ロックを解除するには、exitボタンを押してOFFを選択してからenterボタンを押します。

- MENU+LEVEL
menuとlevelコントロールをロックします。

- MENU ONLY
設定メニューのみをロックします（menuコントロール）。

- MENU+SWITCH
レベルボタン以外のコントロールをロックします（RF及び電源スイッチを含む）。*

- ALL
すべてのコントロールをロックします（RF及び電源スイッチを含む）。*

*RFはロックされると自動的に有効になります。装置のロックを解除すると、スイッチがオフの場合RF及び電源がオフになります。

UTILITIES > RX SETUP

これらの設定は同期によりボディバックに転送されます（同期方向が送信機からのとき）。デフォルトのKEEPパラメータが選ばれていると、ボディバックの設定は変更されません。

- LOCK
ボディバックのロック

- V LIMIT
音量リミッター

- LIM VAL
音量リミッター値

- MODE
ステレオ (ST) またはMixMode (MX)

- BAL MX
MixMode時のCH. 1 (L) と CH. 2 (R) のミックス

- BAL ST
ステレオモード時の左 (L) と右 (R) のバランス

- HIBOOST
高域ブースト

UTILITIES > RESET SYSTEM

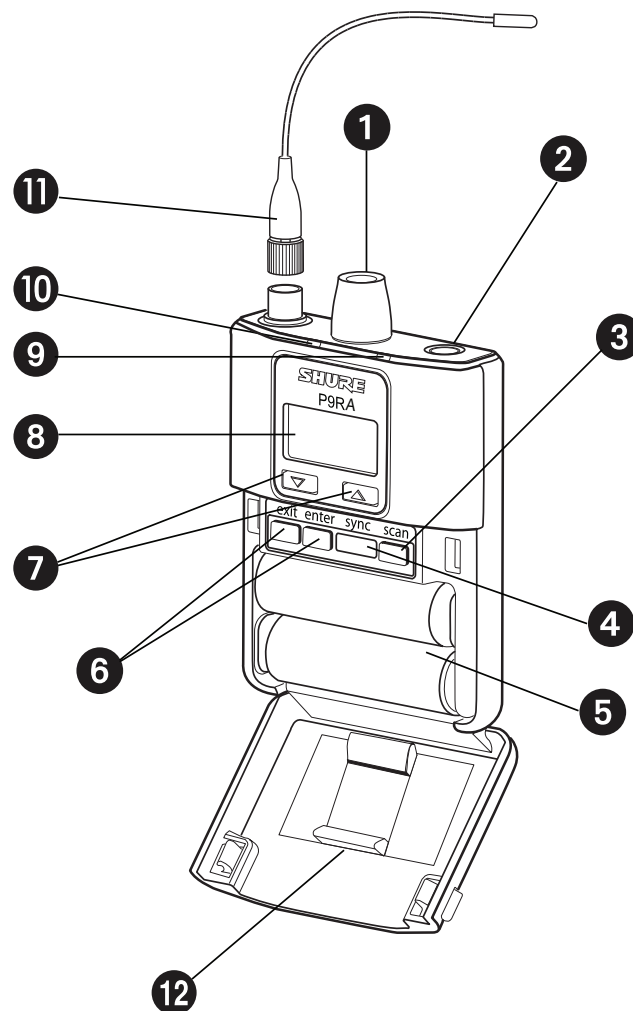
すべての設定を工場出荷時設定に戻します。

- NO
終了し、システムをリセットしません。

- YES
システム設定をリセットします。

ボディバック受信機

- ① 電源スイッチおよび音量コントロール
ボディバックのオン/オフを切り替え、イヤホンの音量を調節します。
- ② 3.5 mmイヤホンジャック
ここにイヤホンを入れます。
- ③ スキャンボタン
スキャンボタンを押して空いている周波数を探します。2秒間押したままにすると、最も空きの多いチャンネルを持つグループを探します。
- ④ IRウィンドウ
ボディバックとラックユニット間で設定を転送する際に使用します。
- ⑤ 電池コンパートメント
単3形電池2本またはShure製充電電池が必要です。両側のラッチを押しながら引くと開きます。
- ⑥ メニューボタン
▼▲ボタンとともに使用して設定メニューにアクセスします。
- ⑦ ▼▲ボタン
オーディオミックスの調整（MixMode時のみ）、またはメニューボタンとともに使用して設定を変更します。
- ⑧ LCD画面
現在の設定やメニューを表示します。
- ⑨ バッテリー残量表示3色LED
緑、オレンジ、赤に点灯して電池残量を表示します。赤になったらすぐに電池を交換してください。
- ⑩ RF青LED
ボディバックが送信機からの信号を受信しているときに点灯します。
- ⑪ SMAコネクター
取り外し式アンテナ用です。
- ⑫ 取り外し式単3アダプター
Shure SB900充電式電池を使用するときに取り外します。



注: アダプターを取り外すにはドアを開けてスライドさせます。アダプターを再度取り付けるには、クリップの上に置いて押します。正しく装着されるとカチッという音が聞こえます。

電池寿命

電池インジケーター	バッテリー 残量表示3色 LED	およその残り時間 (h:mm)					
		アルカリ乾電池			SB900充電電池		
		ボリュームレベル			ボリュームレベル		
		4	6	8	4	6	8
	緑色	6:00 ~ 3:50	4:20 ~ 2:45	3:15 ~ 2:05	8:45 ~ 4:00	7:15 ~ 4:00	6:25 ~ 4:00
	緑色	3:50 ~ 2:50	2:45 ~ 2:00	2:05 ~ 1:30	4:00 ~ 3:00	4:00 ~ 3:00	4:00 ~ 3:00
	緑色	2:50 ~ 1:15	2:00 ~ 1:00	1:30 ~ 0:50	3:00 ~ 2:00	3:00 ~ 2:00	3:00 ~ 2:00
	緑色	1:15 ~ 0:25	1:00 ~ 0:20	0:50 ~ 0:20	2:00 ~ 1:00	2:00 ~ 1:00	2:00 ~ 1:00
	オレンジ	0:25 ~ 0:15	0:20 ~ 0:10	0:20 ~ 0:10	1:00 ~ 0:30	1:00 ~ 0:30	1:00 ~ 0:30
	赤色	< 0:15	< 0:10	< 0:10	< 0:30	< 0:30	< 0:30
Total Battery Life		6:00	4:20	3:15	8:45	7:15	6:25

注: Energizer単3形アルカリ乾電池を次の条件で使用したときの電池寿命:

- 受信機オーディオをHIBOOST = OFF、V LIMIT = OFFに設定
- 送信機オーディオINPUT設定をLine+4 dBu、Levelを-9 dBに設定
- 送信機へのオーディオ入力: ピンクノイズ、+8.7 dBV
- 受信機のオーディオ出力: SE425イヤホン使用時で115 dB SPL

注: 低インピーダンスのイヤホン、別の種類の電池、高ゲイン設定にてPSMシステムを使用した場合には、受信機の電池寿命が仕様とは異なる場合があります。

ピンクノイズとは、パワースpektral密度が周波数に対して反比例するような周波数スペクトラムを持った信号です。ピンクノイズでは、各オクターブが同じノイズレベルを持つことになります。

設定メニュー



オーディオ設定

Audioメニューから次のオーディオ設定にアクセスします。

MODE

出力モード

STEREO
ステレオ

MIXMODE
MixMode

HIBOOST

高域のEQブースト

OFF
ブーストなし（フラット）。

4 dB
10 kHzで4 dBのブースト。

2 dB
10 kHzで2 dBのブースト。

V LIMIT

音量リミッター

V LIMIT
リミッターをONまたはOFFにします。

VALUE
3～9：音量ノブ位置に対応（例えば、5は音量ノブの5番目のドットと同じ）

BAL ST / BAL MX

バランス

▼▲ ボタン
ステレオモード時の左右のイヤホンのバランス調整、MixMode時の左右チャンネルのミックス量

GAIN

出力ゲイン

HIGH
ゲインを10dB上げます。

STANDARD(STD)
0 dBゲイン。

RF設定

RADIOメニューから次のRF設定にアクセスします。

RADIO

G:
グループ番号。各グループには、ひとつのエリアで同時に動作できるチャンネルが登録されています。

CH:
チャンネル番号。選択したグループのチャンネルに受信機を設定します。

888.888 MHz
受信機が設定された周波数を表示します。ハイライトさせ、▼▲ボタンを使って特定の周波数に設定します。

SQUELCH
スケルチ設定を調整します。

RF PAD
3 dBステップでアンテナ信号を減衰できます。

ユーティリティ及び表示設定

UTILITIESメニューから次の設定にアクセスします。

UTILITIES

CUEMODE
CUEMODEで動作します。CUEMODEを終了するにはenterを選んだ後EXIT CUEMODEを選びます。

DISPLAY
ボディバックのディスプレイ設定を変更します

CONTRAST
ディスプレイの明るさを高、低、中に設定します。

LOCK PANEL
電源と音量以外のコントロールをすべてロックします。ロックを解除するには、exitを押し、OFFを選択してenterを押します。

BATTERY
以下を表示します：Hrs:Min left、temperature、Status、Cycle Count、Health。

RESTORE
受信機を工場出荷時設定に戻します。

複数システムの設定

複数のシステムを設定するときは、ボディバックの内の1台を使って使用可能な周波数をスキャンし、それをすべてのラックユニットにダウンロードします。

ボディバックはすべての送信機と同じ周波数帯のものである必要があります。

1. ラックユニットすべての電源を入れます。**RFスイッチをオフにします。**（周波数スキャンとの干渉を防止します。）
注:演奏または講演中に使用するその他のすべてのワイヤレス、デジタル機器の電源をオンにします（スキャンがそれらによって生じる干渉を検出して回避します）。
2. **scan**ボタンを2秒間押し続けたままにし、ボディバックで**グループをスキャン**します。ボディバックにグループと使用可能なチャンネル数が表示され、**SYNC NOW...**が点滅します。
重要: 使用可能なチャンネル数をメモします。使用可能なチャンネル数よりもラックユニットが多い場合は、可能性のある干渉源を排除して再度試みるか、Shure Applicationsまでお電話にてお問い合わせください。
3. ボディバックを一番目のラックユニットのIRウィンドウに近付け、**sync**ボタンを押して同期させます。
4. ボディバックの**scan**を再度押し、次に使用可能な周波数を探します。
5. 次のラックユニットとボディバックを同期させます。
6. すべてのラックユニットで同様に行います。
7. 各パフォーマー用のボディバックを対応するラックユニットのIRウィンドウに近付け、**sync**ボタンを押して同期させます。ボディバックの**scan**ボタンは押さないでください。
8. すべてのラックユニットのRFスイッチをオンにします。これでシステムを使用することができます。

CueMode

CueModeでは複数のラックユニットから名前と周波数設定をアップロードし、1つのボディバックにリストとして保存します。その後、いつでもリストをスクロールして各送信機からのオーディオミックスをショーの最中に演奏者と同じに聞くことができます。

CueModeリストはCueModeの終了、ボディバックの電源オフ、あるいはバッテリーを取り外しても保存されます。

注:CueModeリストを作成する前にチャンネル周波数を設定して各送信機の表示名を割り当てておきます。

CueModeリストへの送信機の追加

注:送信機は、ボディバックと同じ周波数帯域にしてください。

1. 電池ドアを開け**enter**ボタンを押します。
2. メインメニューから**UTILITIES**にスクロールし、**enter**ボタンを押します。**CueMode**を選択し、再度**enter**ボタンを押します。
3. IRウィンドウ同士を近づけ、ラックユニットの**sync**ボタンを押します。周波数と名前のデータがCueModeリストにアップロードされると、LCDに**SYNC SUCCESS**と表示されます。その送信機のCueMode番号と合計の送信機数も表示されます。
4. 各送信機で上記ステップを繰り返します。

注:CueModeで同期を行ってもボディバックの設定は変更されません。

ミックスの検聴

1. **UTILITIES**メニューからCueModeに入ります。
2. ▼▲ボタンを使用してCueModeリストをスクロールし、ミックスを検聴します。

CueModeの終了

CueModeを終了するには、**enter**ボタンを押して**EXIT CUEMODE**を選択します。

CueModeミックスの管理

CueMode中に**enter**ボタンを押すと、以下のメニューへ進むことができます:

REPLACE MIX: これを選択してからラックユニットの**sync**ボタンを押すと、現在のミックスの新しいデータをアップロードすることができます（例えば、送信機の周波数を変更した場合）。

DELETE MIX: 選択したミックスを削除します。

DELETE ALL: すべてのミックスを削除します。

EXIT CUEMODE: CueModeを終了し、ボディバックを直前の周波数設定に戻します。

周波数スキャン

周波数スキャンを使ってRF環境を分析し、干渉や使用できる周波数を判別します。

- **チャンネルスキャン** ボディバックのスキャンボタンを押します。最初の空きチャンネルを探します。
- **グループスキャン** スキャンボタンを2秒間押し続けます。使用可能なチャンネル数が最も多いグループを探します。（各グループは同じ環境下で運用される複数システムとして互換性を持つ周波数セットで構成されています。）

注:周波数スキャンを実施するとき:

- 設定を行っているシステムの送信機のRFオフにします。（周波数スキャンとの干渉を防止するためです。）
- 他のワイヤレスシステムやワイヤレス装置、コンピューター、CD プレーヤー、LEDパネル、エフェクトプロセッサ、デジタルラック装置など、電波干渉の原因となりうるものの電源は**オン**にして、講演やパフォーマンスの最中と同様に作動させます（スキャンが干渉を検出し、生成される干渉を回避します）。

Sync

双方向で周波数設定を転送することができます: ボディバックからラックユニット、またはラックユニットからボディバックに設定を転送できます。

注:ラック送信機の**Sync > RxSetup**メニューを使えば、同期中に、ロックやモード設定等、他の設定をボディバックに転送するよう選択することもできます。

ボディバックからの設定のダウンロード

1. ボディバックの**scan**ボタンを押します。
2. 次にIRウィンドウ同士を近づけ、ボディバックのディスプレイに「**SYNC NOW...**」が点滅している間にラック送信機LCDメニューの**sync**ボタンを押します。ラックユニットのレベルLEDが点滅します。

ボディバックへの設定の送信

1. IRウィンドウを合わせます。
2. ラック送信機LCDメニューの**Sync**ボタンを押します。ボディバックの青のLEDが点滅します。
3. **Sync**を押して設定を転送します。IRウィンドウが正しく揃っていると送信機のIRウィンドウが点灯します。

MixMode

演奏者によって、自分の声や演奏をよく聞きたい場合もあれば、バンドの方をよく聞きたい場合もあります。MixModeでは、演奏者はボディバックのバランスコントロール (▼▲ボタン) を使用して自身でミックスを作成します。

MixModeを使用するには、演奏者のソロミックスを送信機のCH. 1 IN入力に送り、バンドミックスをCH. 2 IN入力に送ります。

演奏者のボディバックをMixModeに設定します。ボディバック上のバランスコントロールで相対的にレベルを調整された2つの信号は、ボディバックで合成され、両耳のイヤホンに送られます。

LOOPの使用法

LOOP OUT L (左) およびR (右) 出力を使用して、送信機に入力されたオーディオ信号と同じものを他の機器へ送ることができます。以下はこの出力の使用例です。

注: 入力レベルコントロールと入力パッドは、LOOP OUT信号のレベルには影響しません。

複数システムでMixModeを使用する場合

各システムをMixModeに設定します。ミキシングコンソールから、バンド全体のミックスを、一番目の送信機の入力2につなぎます。LOOP OUT Rの出力を次の送信機のCH. 2 IN入力に接続します。全送信機について同様にチェーン接続にします。

次に各演奏者用のソロミックスを作成します。各ミックスをその演奏者の送信機の入力1に送信します。

フロアモニター

LOOP出力からのオーディオをステージ上のスピーカーに送ります。ボディバックとステージ上のモニターは同じオーディオ信号を受けます。

録音装置

演奏を録音するには、録音装置の入力にLOOP出力を接続します。

スケルチ

スケルチは、RF信号のにノイズが増加したときにボディバックからのオーディオ出力をミュートします。スケルチが作動すると、ボディバックの青のLEDは消えます。

多くの設置状況で、スケルチの調整は必要ありません。これによりRF信号の質が低下した場合にもヒス音や突発的な雑音が演奏者に聞こえることはありません。ただし、RFが混雑した状態またはRF干渉源の近くで使用する場合 (大型LEDビデオパネル等)、スケルチを下げて、頻繁な音声のドロップアウトを防がなければならない場合があります。スケルチを低くした設定では、演奏者にノイズやヒス音が聞こえやすくなりますが、オーディオがドロップアウトする頻度は少なくなります。

重要: スケルチを下げる前に、まず、設置状態に合わせて最適な周波数設定を探し、潜在的な干渉源を取り除いて、問題を防ぐようにしてください。

注意: スケルチをオフにしたり、設定を下げたりすると、ノイズレベルが上がり演奏者が不快に感じます。

- 本当に必要なとき以外はスケルチ設定を下げるしないでください。
- スケルチを調整する前に、イヤホンの音量設定を最小にしてください。
- 演奏中にスケルチの設定を変更しないでください。
- 送信機のlevel設定を上げ、ノイズやヒス音が聞こえにくくなるようにしてください。

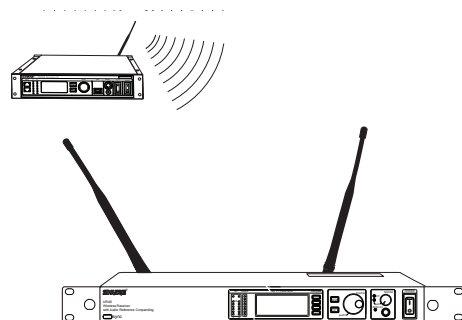
スケルチ設定

HIGH (NORMAL)		工場出荷時設定。
MID		受信機のスケルチを作動させるために必要な程度に若干適度にSN比を下げます。
LOW		ノイズスケルチのスレッシュホールドを大幅に下げます。
PILOT ONLY*		ノイズスケルチをオフにしてパイロットスケルチのみをオンにします。
NO SQUELCH*		ノイズとパイロットトーンスケルチをオフにします。(モニターエンジニアまたはRFコーディネーターがRF環境を「聴く」ためのデバッグツールとして使用することができます。)
* ディスプレイウィンドウに表示されるシンボル		

ポイントツーポイントワイヤレスオーディオ

PTPモードを使用すると、P9TからUHR-R受信機に送信できるようになります。これにより、送信機と受信機はラックマウントされAC電源で動作できるようになります。

詳細は下記までアクセスしてください: www.shure.com/americas/products/personal-monitor-systems



仕様

PSM900

RF送受信帯域	470–952 MHz 地域により異なります
互換周波数	帯域毎: 20
チューニング帯域幅	36~40 MHz 注: 地域により異なります
送信到達距離 環境によって異なります	90 m (300 ft)
周波数特性	35 Hz~15 kHz +/- 1dB
S/N比 Aウェイト	90dB (標準)
THD (全高周波歪率) 基準 ±34 kHz偏移@1 kHz	<0.5% (標準)
コンパANDING	特許取得済みオーディオリファレンス コンパANDING方式
スプリアス除去 基準 12dB SINAD	>80dB (標準)
周波数変動	±2.5 ppm
MPXパイロットトーン	19 kHz (±0.3 kHz)
変調	FM*, MPXステレオ *基準 ±34 kHz偏移@1 kHz
使用温度範囲	-18°C ~ +57°C

P9RA

三帯域RFフィルタリング	各帯域の中心周波数から −3 dB (30.5 MHz)
アクティブRFゲインコントロール	31dB RF感度を調整し、RFダイナミックレンジを拡大
アクティブRF感度 (20 dB SINAD)	2.2 μV
イメージ抑圧比	>90dB
隣接チャンネル除去	>70dB
スケルチしきい値	22dB SINAD (±3dB) デフォルト設定
相互変調減衰性能	>50dB
ブロッキング性能	>80dB
音声出力電源 1kHz @ <1%歪み、ピーク出力、@32Ω	100 mW (出力毎)
最小負荷インピーダンス	9.5 Ω
ハイブースト	選択可能: +2dB, +4dB @ 10 kHz
音量リミッター	選択可能: 3~9 音量調節ノブ制限。音量ノブ表示に合わせた選択値
質量	200 g (電池付き)
寸法	99 x 66 x 23 mm (3.9 インチ x 2.6 インチ x 0.9 インチ) 高さ×幅×奥行き
電池寿命	4~6 時間 (連続使用) 単三電池

P9T

RF送信出力	選択可能: 10, 50, 100 mW (+20 dBm)
RF出力インピーダンス	50 Ω (標準)
質量	850 g
寸法	42 x 197 x 166 mm, 高さ×幅×奥行き
使用電源	100~15V AC, 415 mA, 標準

音声入力

コネクタの種	XLRと6.35 mm TRS フォーンのコンビネーション
極性	XLR: 非反転 (ピン3に対してピン2が正) 6.35 mm TRS: リングに対してチップが正
構成	電子バランス
インピーダンス	70.2 kΩ (実効値)
公称入力レベル	切り替え可能: +4 dBu, −10 dBV
最大入力レベル	+4 dBu: +29.2 dBu −10 dBV: +12.2 dBu
ピンの割当	XLR: 1=接地、2=ホット、3=コールド 6.35 mm TRS: チップ=ホット、リング=コールド、スリーブ=接地
ファンタム電源保護	最大 60 V DC

音声出力

コネクタの種	6.35 mm TRS
構成	電子バランス
インピーダンス	入力に直接接続

周波数帯域および送信機出力

帯 域	範 囲	出力
G6	470-506 MHz	10/50/100 mW
G6E	470-506 MHz	10/50 mW
G7	506-542 MHz	10/50/100 mW
G7E	506-542 MHz	10/50 mW
G14	506-542 MHz	6/10 mW
K1	596-632 MHz	10/50/100 mW
K1E	596-632 MHz	10/50 mW
L6	656-692 MHz	10/50/100 mW
L6E	656-692 MHz	10/50 mW
P7	702-742 MHz	10/50 mW
Q15	750-790 MHz	10/50 mW
Q20	750-787 MHz	10/50 mW
R20	794-806 MHz	10 mW
R21	794-806 MHz	10/50 mW
R22	790-830 MHz	10/50 mW
A24	779-806 MHz	10 mW
X2	925-932 MHz	10 mW
X1	944-952 MHz	10/50/100 mW

アクセサリおよびパーツ

付属アクセサリ

P9Rアンテナ	
470–542 MHz	UA700
596–692 MHz	UA720
670–830 MHz	UA730
830–952 MHz	UA740
P9Tアンテナ	
470–530 MHz	UA820G
500–560 MHz	UA820G7
518–578 MHz	UA820H4
578–638 MHz	UA820J
638–698 MHz	UA820L3
690–746MHz	UA820B
740–814 MHz	UA820Q
774–865 MHz	UA820A
900–1000 MHz	UA820X
フロントマウント・アンテナケーブル	95A9023
ジッパー付きバッグ	95A2313
ラックマウント・ブラケット、ロング	53A8612
ラックマウント・ブラケット、ショート	53A8611
連結バー	53B8443
ハードウェアキット (ラックマウントネジ)	90AR8100
バンパーキット	90B8977
高効率スイッチング電源	
USA	PS41US
ブラジル	PS41BR
アルゼンチン	PS41AR
ヨーロッパ	PS41E
イギリス	PS41UK
オーストラリア/ニュージーランド	PS41AZ
中国	PS41CHN
台湾	PS41TW
日本	PS41J

PSM900 FREQUENCIES FOR EUROPEAN COUNTRIES

*IMPORTANT

NOTE: THIS EQUIPMENT MAY BE CAPABLE OF OPERATING ON SOME FREQUENCIES NOT AUTHORIZED IN YOUR REGION. PLEASE CONTACT YOUR NATIONAL AUTHORITY TO OBTAIN INFORMATION ON AUTHORIZED FREQUENCIES AND RF POWER LEVELS FOR WIRELESS MICROPHONE PRODUCTS IN YOUR REGION.

A ministerial license may be required to operate this equipment in certain areas. Consult your national authority for possible requirements.

PSM 900-G6E 470 - 506 MHz, max. 10 - 50 mW, 100 mW	
Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST	470 - 506 MHz *
F, GB, GR, H, I, IS, L, LT	470 - 506 MHz *
NL, P, PL, S, SK, SLO	470 - 506 MHz *
DK, FIN, M, N	*
HR, E, IRL, LV, RO, TR	*
All other Countries	*

PSM 900-G7E 506 - 542 MHz, max. 10 - 50 mW, 100 mW	
Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST	506 - 542 MHz *
F, GB, GR, H, I, IS, L, LT	506 - 542 MHz *
NL, P, PL, S, SK, SLO	506 - 542 MHz *
DK, FIN, M, N	*
HR, E, IRL, LV, RO, TR	*
All other Countries	*

PSM 900-K1E 596 - 632 MHz, max. 10 - 50 mW, 100 mW	
Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, BG, CH, CY, CZ, D, EST	596 - 632 MHz *
F, GB, GR, H, I, IS, L, LT	596 - 632 MHz *
NL, P, PL, S, SK, SLO	596 - 632 MHz *
B, DK, FIN, M, N	*
HR, E, IRL, LV, RO, TR	*
All other Countries	*

PSM 900-L6E 656 - 692 MHz, max. 10 - 50 mW, 100 mW	
Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, BG, CH, CY, CZ, D, EST	656 - 692 MHz *
F, GB, GR, H, I, IS, L, LT	656 - 692 MHz *
NL, P, PL, RO, S, SK, SLO	656 - 692 MHz *

B, DK, FIN, M, N	*
HR, E, IRL, LV, TR	*
All other Countries	*

PSM 900-P7 702 - 742 MHz, max. 10 - 50 mW, 100 mW	
Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST	702 - 742 MHz *
F, GB, GR, H, I, IS, L, LT	702 - 742 MHz *
NL, P, PL, RO, S, SK, SLO	702 - 742 MHz *
DK, FIN, M, N	*
HR, E, IRL, LV, TR	*
All other Countries	*

PSM 900-Q15 750 - 790 MHz, max. 10 - 50 mW, 100 mW	
Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, BG, CH, CY, CZ, D, EST	750 - 790 MHz *
F, GB, GR, H, I, IS, L, LT	750 - 790 MHz *
NL, P, PL, RO, S, SK, SLO	750 - 790 MHz *
B, DK, FIN, M, N	*
HR, E, IRL, LV, TR	*
All other Countries	*

PSM 900-R22 790 - 830 MHz, max. 10 - 50 mW, 100 mW	
Country Code	Frequency Range
Code de Pays	Gamme de frequences
Codice di paese	Gamme di frequenza
Código de país	Gama de frecuencias
Länder-Kürzel	Frequenzbereich
A, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GR,	790 - 830 MHz *
H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, SLO	790 - 830 MHz *
DK, N	800.1 -819.9 MHz*
FIN	790.1 -821.9 MHz*
B, HR, E, GB, IRL, LV, M, RO, S, SK, TR	*
All other Countries	*



**United States, Canada, Latin
America, Caribbean:**

Shure Incorporated
5800 West Touhy Avenue
Niles, IL 60714-4608 USA

Phone: 847-600-2000
Fax: 847-600-1212 (USA)
Fax: 847-600-6446
Email: info@shure.com

Europe, Middle East, Africa:

Shure Europe GmbH
Jakob-Dieffenbacher-Str. 12,
75031 Eppingen, Germany

Phone: 49-7262-92490
Fax: 49-7262-9249114
Email: info@shure.de

Asia, Pacific:

Shure Asia Limited
22/F, 625 King's Road
North Point, Island East
Hong Kong

Phone: 852-2893-4290
Fax: 852-2893-4055
Email: info@shure.com.hk